

遠軽地区地域連携ビジョン

平成28年3月25日策定

1 連携地域の名称及び構成市町村

(1) 連携地域の名称

遠軽地区連携地域

(2) 構成市町村

遠軽町、佐呂間町、湧別町

2 遠軽地区地域連携ビジョンの取組期間

平成27年度から平成31年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行う。

3 連携地域の将来像

課題

北海道の北東部に位置する3町からなる遠軽地区連携地域は、オホーツク管内のほぼ中央に位置し、東はオホーツク海から、西は「北海道の屋根」ともいわれる大雪山系の険しい山々までの広大なエリアを持つ地域となっており、オホーツク海や日本最大の汽水湖であるサロマ湖におけるホタテ貝、サケ・マスを中心とする漁業、酪農や畜産を基幹として、たまねぎをはじめ、かぼちゃ、ジャガイモ、アスパラなど多様な作物を展開する農業、広大な森林面積を背景とするカラマツ材生産などの林業を主体とした一次産業を基盤産業とする地域であり、簡易・家庭裁判所などの国や道の機関の管轄区域と同一エリアとなっているほか、消防・救急業務やし尿処理、資源ごみ処理等の3町間の共同処理などの行政面や通院などの医療面でも古くから結びつきが強く、経済・生活・行政などで強いつながりのある地域となっている。

近年、本地域では、食の外部化・外食化や輸入品との価格競争などによる農産物の市場価格の低迷や漁獲高の減少に加え、全国・全道を上回る人口減少・少子高齢化の進行による地域需要の減少や後継者不足により、農林水産業をはじめとした地域経済の衰退が喫緊の課題となっている。

また、地域の生活基盤の要である医療・福祉では、医師不足により遠紋二次医療圏で唯一可能であった遠軽町での分娩が困難になるなど、地域で暮らし続けるための生活機能の維持・確保が課題となっている。

今後も人口減少が進むと見込まれる中で、こうした状況に対応するためには、地域を上げて、農林水産業をはじめとした地場産業の振興、担い手の育成、新たな産業の開発による就業・雇用の場の確保、地域医療や福祉環境の維持などにより、安心・安全な地域を確保する必要がある。

■ 3町及び全国・全道の人口の推移及び推計

(単位：人、%)

	1990	2000	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2010-2040 人口増減率
遠軽町	26,735	24,844	22,265	20,904	19,585	18,207	16,823	15,484	14,227	△ 36.1%
佐呂間町	7,801	6,666	5,892	5,490	5,113	4,733	4,368	4,014	3,673	△ 37.7%
湧別町	12,692	11,423	10,041	9,344	8,688	8,026	7,370	6,750	6,149	△ 38.8%
3町計	47,228	42,933	38,198	35,738	33,386	30,966	28,561	26,248	24,049	△ 37.0%
全道計	5,643,647	5,683,062	5,506,419	5,361,296	5,178,053	4,959,984	4,719,100	4,462,042	4,190,073	△ 23.9%
全国計	123,611,167	126,925,843	128,057,352	126,597,298	124,099,926	120,658,816	116,617,659	112,123,571	107,275,851	△ 16.2%

国勢調査人口（1990年～2010年）、国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口（2015年～）

取組の方向性

このため、遠軽地区連携地域では、農林水産物を活用した特産品等の開発・普及の推進を図るほか、恵まれた自然環境を活用した広域観光開発など新たな産業を創出することにより、収入や雇用の場を確保し、人口の定住を図るとともに、住民が地域で安心して暮らすことができるよう、医療、福祉などの機能維持に向け、地域全体で連携した取組を行う。

また、今後、こうした産業振興や医療、福祉などに関する取組のさらなる充実に努めるとともに多様な地域課題に対応していくため、さまざまな分野での連携を視野に検討を進めていくこととしている。

目指す姿

遠軽町、佐呂間町、湧別町の3町で締結した遠軽地区地域連携協定に基づき連携して推進する取組として、生活機能の強化に係る「医療」と「産業振興」に関する取組を進め、遠軽地区連携地域が、地域の豊富な資源を活かしながら、将来にわたり住民が安心して働き、暮らすことができる地域のまちづくりを進める。

4 地域連携協定に基づき推進する取組

(1) 生活機能の強化に係る具体的取組

ア 医療

地域医療対策

<協定の内容>

圏域における地域医療確保に係る医師招へい活動のほか、出産に係る相談体制の整備、地域医療対策に係るフォーラム等の開催により、地域医療対策に係る地域住民の共通理解を図る。

<具体的取組>

事業内容	<p><u>広告掲載</u> 医師の多い関西圏での電車、地下鉄等における中吊りポスター、医療関係ホームページ、その他のさまざまな媒体による医師募集。</p> <p><u>医師招へい事業</u> 医療アドバイザーや要望活動による医師招へい活動の実施。</p> <p><u>医師版お試し暮らし</u> 全国の大学病院にダイレクトメールを送り、地域病院の視察や体験、地域での暮らしを体験してもらい、医師の確保を図る。</p> <p><u>妊産婦相談体制の整備</u> 妊産婦の救急時における相談体制を整備する。</p> <p><u>フォーラム等の開催</u> 地域医療対策に係るフォーラム等を開催し、地域住民の共通理解を図る。</p>					
事業主体	遠軽町、佐呂間町、湧別町					
事業効果	地域における医療環境を確保することで、地域住民が安心して暮らし続けることができ、地域への定住の促進が図られる。					
役割分担	<p>遠軽町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師招へいや妊産婦相談体制に係る企画・調整を行う。 ・フォーラム等の開催に係る企画・調整を行う。 <p>佐呂間町、湧別町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師招へい活動を行う。 ・フォーラム等を開催する。 					
事業費見込額 (単位：千円)	H27	H28	H29	H30	H31	計
	11,250	12,000	13,500	13,500	13,500	63,750

イ 産業振興

地元食材を活用した特産品等開発・普及

<協定の内容>

地元食材を活用した特産品等を開発し、特産品を活用した圏域内の道の駅を結びつけたイベントやプロモーション活動など、地域の活性化と観光力アップに向けた取り組みを行う。

<具体的取組>

事業内容	<p><u>特産品等開発</u> 3町が連携し、地元食材を活用した特産品等の開発を行う。</p> <p><u>道の駅連携イベント</u> 3町の道の駅を連携し、開発した特産品等を活用したイベントなどを実施する。</p> <p><u>プロモーション活動の実施</u> 3町合同でプロモーション活動を実施し、開発した特産品等を含め、3町の魅力を発信する。</p>					
事業主体	遠軽町、佐呂間町、湧別町					
事業効果	地元食材を活用した特産品等を開発することで、道の駅などの公共施設で取り扱うとともに、プロモーション活動などにより販路を開拓することで、地域の産業や地域経済の活性化が図られ、地域の雇用創出にもつながる。					
役割分担	<p>遠軽町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品等の開発に係る事務局を担当する。 ・特産品等を活用したイベント及びプロモーションの企画・調整を行う。 <p>佐呂間町、湧別町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品等の開発に参画する。 ・特産品等を活用したイベント及びプロモーションを実施する。 					
事業費見込額 (単位：千円)	H27 450	H28 3,000	H29 1,500	H30 1,500	H31 1,500	計 7,950

5 事業費一覧

生活機能の強化に係る具体的取組

ア 医療

協定項目1 地域医療対策事業

市町村名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
遠軽町	3,750千円	4,000千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
佐呂間町	3,750千円	4,000千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
湧別町	3,750千円	4,000千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
合計	11,250千円	12,000千円	13,500千円	13,500千円	13,500千円

イ 産業振興

協定項目2 地元食材を活用した特産品等開発・普及事業

市町村名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
遠軽町	150千円	1,000千円	500千円	500千円	500千円
佐呂間町	150千円	1,000千円	500千円	500千円	500千円
湧別町	150千円	1,000千円	500千円	500千円	500千円
合計	450千円	3,000千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円